

(仮訳)

## ナミビア共和国鉱山・エネルギー大臣と日本国経済産業大臣との間での 鉱業分野における協力に関する共同声明

2023年8月8日、トム・アルウェンド ナミビア共和国 鉱山・エネルギー大臣と西村康稔 経済産業大臣がウィントフックで会談し、レアアース、銅、リチウムを中心とした鉱業分野における二国間協力について協議した。

両大臣は、今後鉱業分野における二国間協力を拡大するためには、以下の原則が重要であることを確認した：

- (1) サプライチェーンの独占と多様性の欠如に起因する経済安全保障上のリスクに対処しつつ、エネルギー転換に不可欠な重要鉱物を確保する、
- (2) より高い環境・社会・ガバナンス（ESG）基準を適用し、重要鉱物のオープンで透明性の高い、ルールと市場に基づく貿易にコミットするとともに、重要鉱物に関する市場歪曲的措置や独占的政策に反対することにより、重要鉱物の責任ある強靱なサプライチェーンを構築する、
- (3) 情報共有、相互訪問、技術協力を含む段階的なアプローチを通じて、具体的で相互に有益なプロジェクトを開発する。
- (4) 鉱山プロジェクトそのものの開発だけでなく、鉱山プロジェクトに必要な人材、インフラ、サプライチェーンの開発にも協力する。

これらの原則に基づき、「ナミビア・レアアース・サプライチェーンに関する調査研究についてのナミビア共和国鉱山・エネルギー省と独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構の間の作業計画」の結果として、「ナミビア・レアアース産業マスタープラン」が策定されることとなり、両大臣は、マスタープランの策定後、その実現のために緊密に協力することに合意した。

両大臣はまた、二国間協力を深めるための次のステップとして、できれば1年以内に、この分野のナミビアの専門家を招き、より多くの日本の聴衆のために、ナミビアの鉱業部門への投資に関するセミナーを日本で開催することを決定した。

加えて、両大臣は、クリーンな水素とそれに関連する派生物の製造分野での協力の可能性についても議論した。

両大臣は、日本とナミビアにおける先進企業である、伊藤忠商事とハイフン・ハイドロジェン・エナジー社との間で、削減が困難なセクターの脱炭素化、地域のエネルギー安全保障の強化、気候変動の影響との闘いのために、クリーンな水素及びその誘導体の生産及び利用の可能性を模索する覚書の署名に立ち会った。

2023年8月8日、ウィントフックにて英語により、二重で署名。

この声明は、いかなる法的拘束力のある義務を生じさせるものではなく、また、いかなる権利を付与するものでもない。

ナミビア共和国 鉱山・エネルギー大臣

日本国 経済産業大臣

トム・アルウエンド

ナミビア共和国 鉱山・エネルギー大臣

西村康稔

経済産業大臣